

LED照明に切替えは 済みですか？



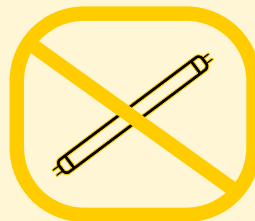
**2027年末までに、一般照明用の蛍光灯の
製造・輸出入が終了します。**

水俣条約締約国会議を受け、水銀使用製品である蛍光灯は2026年1月より順次、製造と輸出入が規制されます。そのため、今後は計画的にLED照明への切替えが必要になります。

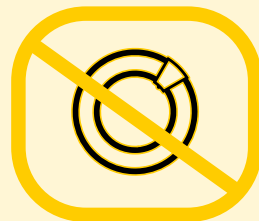
2027年前後にはLED交換工事の駆け込み需要が殺到する可能性も高いです。

照明が切れてからすぐ交換ができない可能性があります。市場にある販売流通在庫がすべてなくなる前に早め早めの更新をオススメします。

※2020年12月31日より一般照明用高圧水銀ランプは製造が禁止になっています※



<直管形>



<環形>



<電球形>



<コンパクト形>

切替えが遅くなるとどうなる？



駆け込み需要

2027年以降は新しい蛍光灯が生産されなくなるため、照明が消えてから焦っていたらもう遅い。日本照明工業会によると、2024年4月時点で国内のLED普及率は59.8%です。まだ40%も交換前なので早め早めの切替えを実施してください。



価格の高騰

LEDの需要が上がり、供給が追いつかなくなると価格が上がってしまいます。それだけではなく工事業者の予約が取りにくくなると工事費も上昇することが考えられます。照明が消えてしまったら作業はできません。



取付工事の遅延

工事業者が忙しくなって予約が取れないことやLED自体の品薄によって工事が思ったようにできない事も考えられます。



買換え需要と同時期に

LEDは長寿命で40,000時間くらい点灯しますが、急激に普及した2012年頃に取付けた会社はそろそろ寿命が来ます。その買換え時期と同時期になるのでさらに工事業者の予約は難しくなるかも知れません。

照明が消えてから慌てない様に早いうちに検討しましょう！

